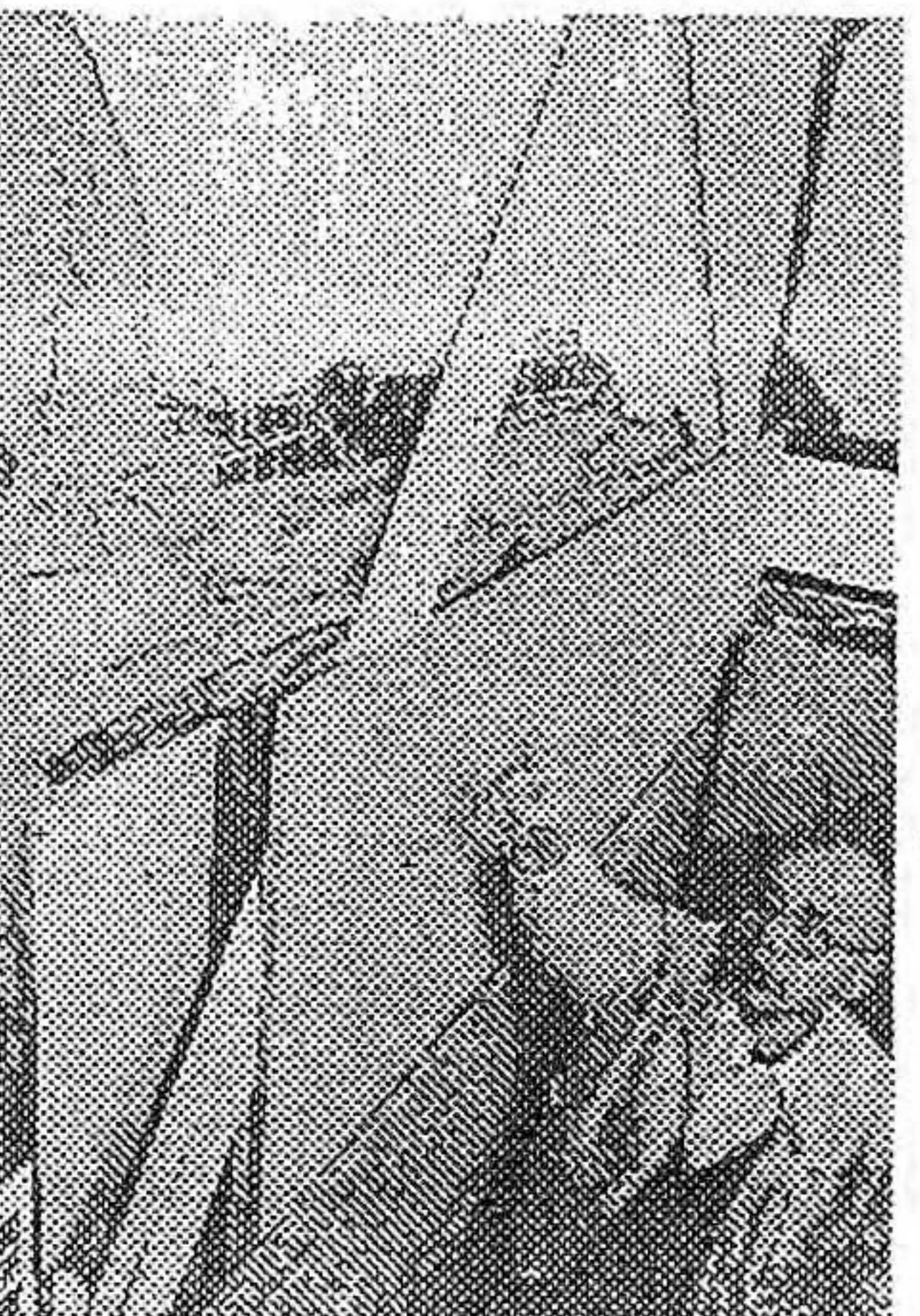


2004年(平成16年) 11月16日 火曜日 (日刊)



地震で崩れ落ちた作業所の壁を指さす樋口功所長＝新潟県十日町市で、小林努写す

# 障害者作業所半壊も支援なく

## 新潟中越地震

この施設は同市内のNPO法人「支援センターあんしん」が運営する小規模作業所「ワーケンセンターあんしん」＝樋口功所長(54)。築50年近い木造2階建ての民家を格安で借り、1階に機械類を置き、2階は休憩室としていた。10代から60代の聴覚障害や知的・精神障害を持つ11人が、大きなロール紙を裁断するなどの作業をして、1人当たり月額1万～2万円を得ていた。

地震で室内の壁が崩れた

## 復旧メド立たず 十日町

障害がある人の働く場を作ろうと、新潟県十日町市のNPO(非営利組織)が昨年11月から運営していたトイレットペーパー製造所が、新潟県中越地震で半壊した。修復には数百万円はかかるが、運営組織が社会福祉法人でないため、国や県の支援は受けられず、復旧のメドは立っていない。

NPO運営 補助対象外れ

【須山勉】

り、階段がゆがむなどの被害を受けた。倒壊防止の板を打ち付けて補強したが、危険な状態で障害者は出入りできな。隣接する住宅で今月1日から一部作業を再開したが、機械類は作業所に残しており、生産量は落ち込んでいる。社会福祉法人が運営する同種施設が被災した場合、国や県から復旧の補助金が出るが、法人格取得には1000万円の基本財産が必要などのハードルがあり、あんしんは法人格を取得できなかつた。

県のまとめでは、被災地には14カ所の小規模作業所があるが、建物が半壊するなどの被害を受けたのは、あんしんだけ。作業をしている橋本春美さん(38)は「早く作業所が使えるようになつてほしい」と話している。あんしんは義援金を呼びかけている。問い合わせは同センター(025-750-2566)。



発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1 〒100-8051 電話(03)3212-0321  
郵便振替口座 00180-3-2800  
©毎日新聞社 2004